



## 「こんにちは 市長です」

5月15日号

胸につかえている問題を二つ。一つはクラシックコンサートである。わりとクラシック好きなのでコンサートに出掛ける。「ジャジャジャジャ〜ン」とオーケストラが始まって15分くらいで一息入れる。「すごいなあ、感動だよ」と何気なく拍手したくなる。そんな経験ありません？ 拍手しない決まりは誰かが決めた。次が始まるまで音を出さず指揮者が汗を拭いているのを見つめている。そして第2楽章へ。何か深い事情があつてのこと？「拍手禁止令」が今でも出たままです。

もう一つは高校野球。これも何か深い事情がきっとある。県高野連の会長さんはどこかの校長先生、教育者である。野球は「部活」であることを知っている。今、春の県大会をやっているけど3回戦までは一般人の球場入場は不可。準々決勝からはお金を払えば見せてやるという。「部活」ですよ。なぜ準々決勝からなのか、それも分からない。応援したければ中学生以上は700円、小学生以下は幼児であっても100円の入場料をいただきます、とくる。県高野連の会長さんは「部活」の一環に入場料を取ることに賛成ですか？料金徴収が慣習として続いているのは何か深い事情があるとしたか考えられない。高校野球は学校のグラウンドを広く使って教師が指導する。サッカーと同じ。「部活」が何食わぬ顔して収益活動、「益活」の片棒を担いでいく？それが当たり前になっている。異論あります。

5月22日、陸上競技場でサッカーのU18プレミアリーグ「青森山田対桐生第一」の試合があります。青森山田は高校日本一の学校です。高校野球と違って無料です。お出掛けください。(4/25記)